



海上保安庁

令和4年11月28日

海徳海山の火山活動について（11月25日観測）

11月25日、第三管区海上保安本部 羽田航空基地所属航空機により海徳海山周辺海域を観測したところ、濃厚な変色水を認めました。海上保安庁では、引き続き航行警報を発出しています。付近を航行する船舶は注意してください。

1. 観測結果

海徳海山の東海徳場付近に、直径約300mの円形の濃厚な黄白色の変色水を認めました。また、そこから南西方向に幅約1km、長さ約10kmにわたって青白色の変色水を認めました（図1・図2）。海徳海山では、本年8月から変色水が確認されており、変色水の規模が大きくなっています。

2. 東京工業大学理学院火山流体研究センター 野上健治教授（航空機同乗）のコメントは以下のとおりです。

- ・前回（10月12日）の観測に比べて湧出域の面積が2倍以上に拡大し、変色域が10kmまで延びており、海徳海山からの熱水湧出量はこの1ヶ月間で格段に増加していることが認められる。
- ・規模としては38年前（1984年）の活動に近づいていると言える。このことは、海徳海山での海底火山活動がさらに活発化していることを示唆している。
- ・今後の火山活動の推移に注意が必要と考えられる。

3. 海徳海山では、1984年に噴火が発生し、変色水、噴煙等の噴出がありました。また、1986年に海底での火山活動を示す変色水が、2001年には気泡の湧出がそれぞれ確認されました。その後、特異事象は認められていませんでしたが、本年8月、36年ぶりに変色水が確認されました。

当庁が実施した観測結果は、随時、海上保安庁海洋情報部HPの「海域火山データベース」にて公開しています。

Web アドレス : <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/list-2.htm>



図1 海徳海山の湧出域（2022年11月25日 13:57 撮影）



図2 海徳海山の変色水の様子（2022年11月25日 13:54 撮影）

<参考1>今年8月以降の変色水の様子



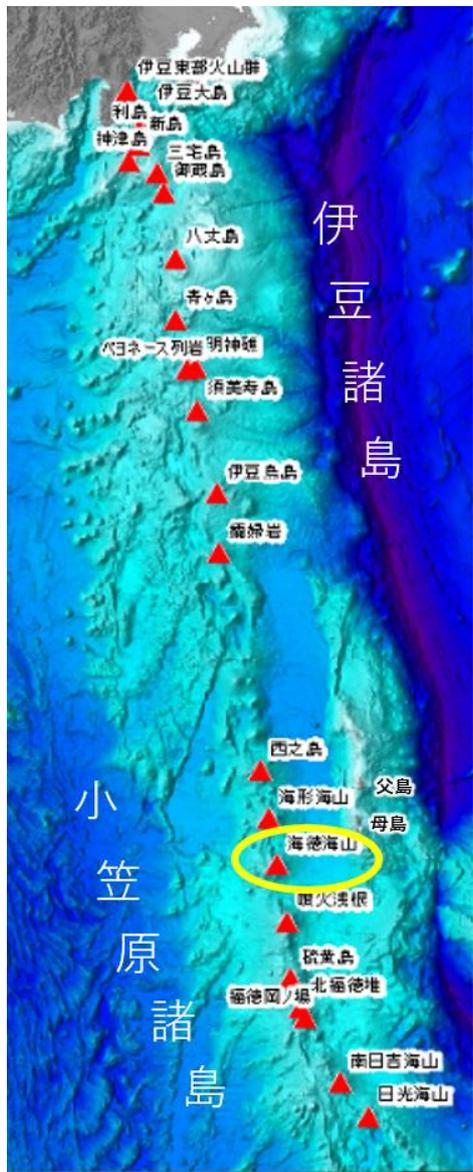
8月23日の変色水の様子



10月12日の変色水の様子（湧出域の直径は約200m）

<参考2> 海徳海山について

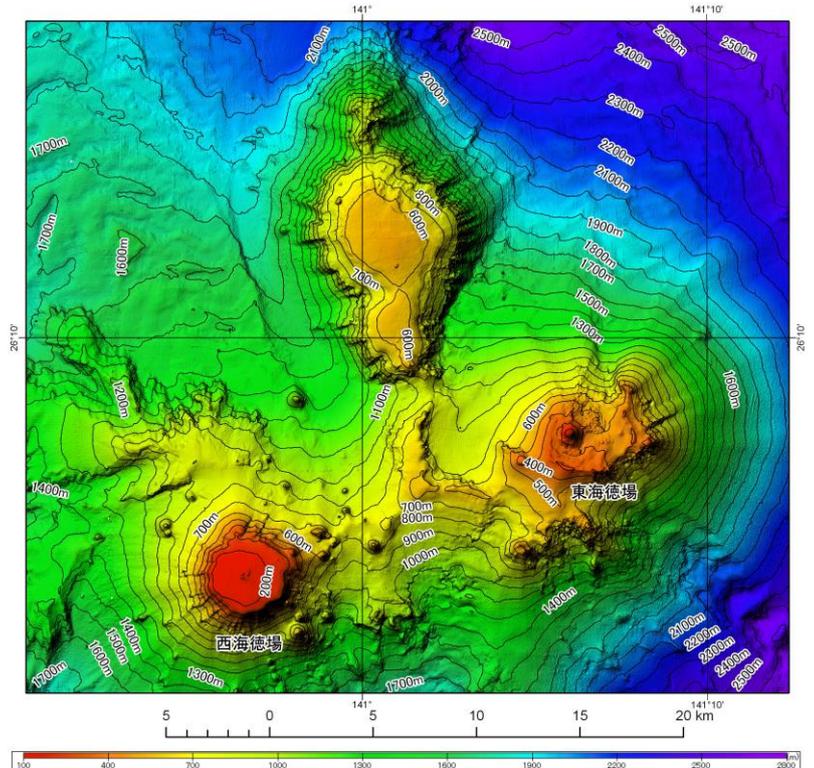
東京から南に約1,050kmの位置にあり、基部の直径が約40km、比高が約2,500mの海底火山で、3つの峰から成ります。変色水付近の最も浅い水深は97mです。



海徳海山の位置図

出典：海しる（海洋状況表示システム）

Web アドレス：<https://www.msil.go.jp>



海徳海山の海底地形図（平成28年調査）

出典：海域火山データベース「海徳海山」